

いもち病の発生に注意しましょう！

令和元（2019）年7月4日

芳賀農業振興事務所

1 気象経過

6月7日ごろに梅雨入りし、その後は、梅雨らしい天候が続いている。真岡市の平均気温は6月7日の梅雨入り後 20.8℃（平年 20.8℃）とほぼ平年並の気温となっている。降水量は、平年の 157%、日照時間は 78%と多雨・寡照に経過した。

特に、6月28日以降は曇雨天の天気が続き、平年より日照不足となっている。今後も曇雨天が続く見込みである。

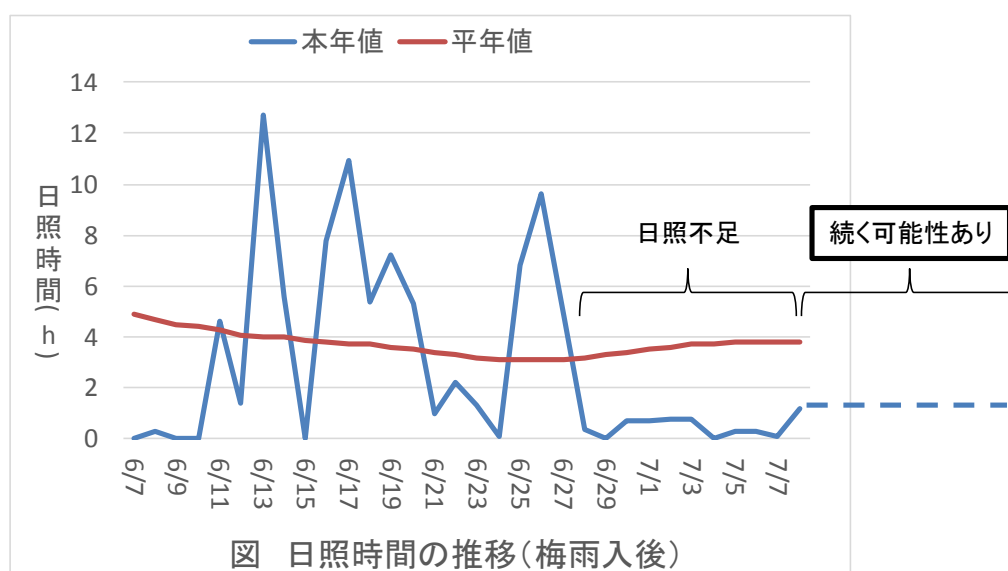


図 日照時間の推移(梅雨入後)

2 いもち病の発生に注意！

栃木県農業環境指導センターのBLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、県内10か所の調査地点で、6月28日以降に感染好適条件が増えており、6月30日には那須を除く9地点で感染好適条件となっている。



(URL : <http://www.jppn.ne.jp/tochigi/file/yosatu/Blastammenu.htm>)

今後の気象予報からも、葉いもちが発生しやすい条件の日が続く見込みなので、いもち病の発生に注意する。

ほ場をよく観察し、発生が認められた場合、治療と予防効果のある薬剤を散布する。

特に、葉色が濃いほ場や水温の低い用水を利用している場合は、いもち病発生の確率が高くなるので粒剤等で予防的に防除する。

3 倒伏に対する対策

日照不足が続くと、軟弱徒長になり倒伏しやすい稲になる。葉色が濃い場合は、やや干し気味の水管理とし、徒長しないように注意する。

茎葉中に加里が多いと、稈の強度が高まり倒伏を少なくする効果が期待できる。分けつ盛期以降は加里濃度が低くなるので、出穂前 40～45 日頃に積極的に加里（成分で 4～5 kg/10a）を追肥する。浅耕土等の漏水田では加里の溶脱しやすいので加里の追肥が有効である。

なお、葉色が淡くても窒素成分による「つなぎ肥」は施用しない。

BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果（令和元（2019）年度）

●：感染好適条件 ○1～4：準感染好適条件 -：感染好適条件なし

●感染好適条件：湿潤時間中の平均気温が 15～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前 5 日間の日平均気温の平均値が 20～25℃の範囲にある。

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
6/01	○3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	○4	-	-	○4	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/06	-	-	-	-	-	○4	-	-	-	-
6/07	○4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/08	-	○4	○4	○4	○4	-	-	-	-	○4
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	○1	●	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	○3	○4	○4	-	-	-	-	-	-	○1
6/16	-	-	-	-	○1	-	-	-	○1	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	○4	-	-	○1	-	-	-	-	-	-
6/21	○1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	●	-	-	-	●
6/24	-	-	-	-	-	-	○4	-	●	-
6/25	-	○4	○4	○1	-	-	○4	●	●	●
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	○1	●	●	●	●	-	-	●	●	●
6/29	○1	●	-	●	-	-	●	-	●	-
6/30	○4	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6月計	0	3	2	3	2	2	2	3	7	4

※ 栃木県環境指導センターホームページより抜粋